



# 五中だより

令和5年4月6日  
小平市立小平第五中学校  
校長 伊藤 克行  
小平市小川町1-798

## 新年度を迎えて

校長 伊藤 克行

令和5年度を迎えました。日本で4月というのは、学年がひとつ上がる大きな節目となります。1年生にとっては、初めて経験する中学校生活に期待と不安でいっぱいでしょう。2, 3年生は、これまでを振り返り、「新たにこんなことをやってみたい」とか「中学校生活の最後の年にこれだけは頑張りたい。」など具体的な目標を掲げているのではないのでしょうか。クラス替えもあり、同じ空間で過ごす仲間も変わります。生徒の皆さんには気持ちを新たに良いスタートを切ってほしいと思います。

令和5年度はこれまで長く続いてきたコロナ感染拡大予防対策も5月8日にほぼ終わりを告げることとなります。つまりコロナ前とほとんど変わらぬ学校生活が戻ってくることが期待されています。小平五中の教育活動もコロナ前の活動を実施していく予定です。文章や映像など2次元の世界でしか体験できなかったことが、今年度は生徒が実際に声を出し、体を動かし、五感を働かせ、味わうことができるようになります。

多くの実体験を伴う教育活動を通じて、小平第五中学校を今以上に差別のない、友達を大切にし合える、居心地が良い、安心して安全な学校にしたいと考えています。例えば、一人で困っている生徒がいるような場合には、周りの生徒がそれに気づき、自分たちの問題として捉え、解決に向かって取り組んでいくような学年・学級経営がおこなえるよう、以下の3つの力をつけさせることを目標にします。

- ① 他人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどがわかるような想像力、共感的に理解する力を付けさせる。
- ② 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、また、的確に理解することができるような、伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力やそのための技能を付けさせる。
- ③ 自分の要求を一方向的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力及び自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる能力やそのための技能を付けさせる。

また、学力向上のために学習者用端末の活用を推進します。今年度より学習者用端末をすべての学年で持ち帰らせます。昨年度まで授業での活用は進めて参りましたが、今年度は学習者用端末デジタル教材も導入し、家庭学習を充実させます。本校で導入する学習者用端末デジタル教材は小学校1年生から中学校3年生まで9年間の学習内容がすべて網羅されています。それぞれの生徒の習熟度に合わせ、必要な学年、単元から復習に取り組むことができます。各教科授業で生徒への働きかけを行っていきますので学習者用端末の使用状況をご家庭でもご確認いただくとありがたいです。

中学校での活動がコロナ前に戻り、活発になると生徒同士のトラブルなども多くなるかもしれません。しかし私たち教員はそれをチャンスと捉え、生徒と向き合っていきます。中学校でたくさんの失敗を経験することが将来に大きく役立つと信じているからです。間違えたことを悔いるのではなく、きちんと自分のしたことを振り返り、反省し、次につなげていけるような強い子どもに育てていきましょう。今年度も保護者の皆様の学校へのご理解とご協力をお願いいたします。